



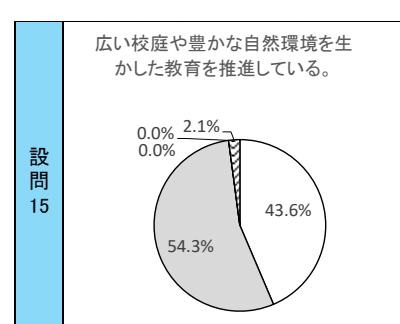
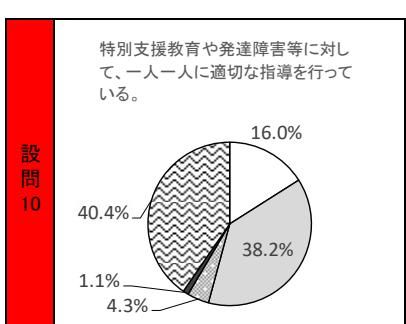
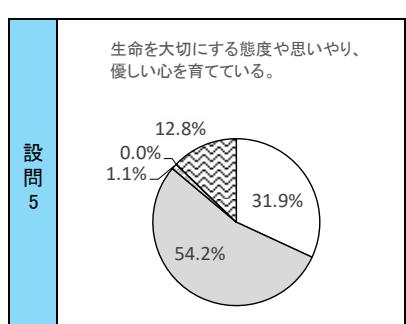
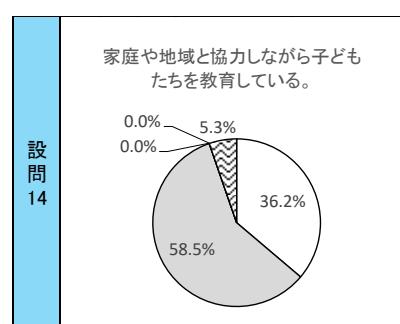
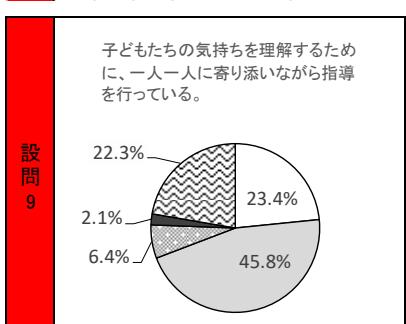
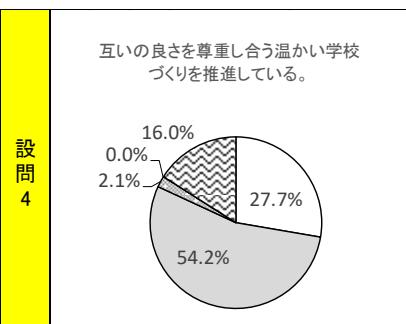
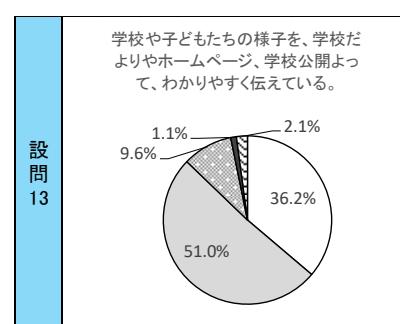
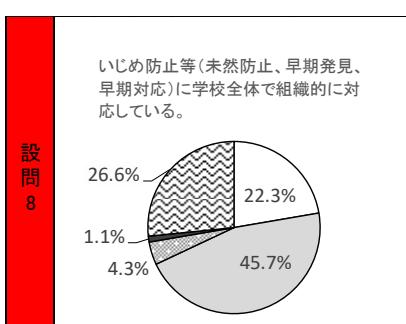
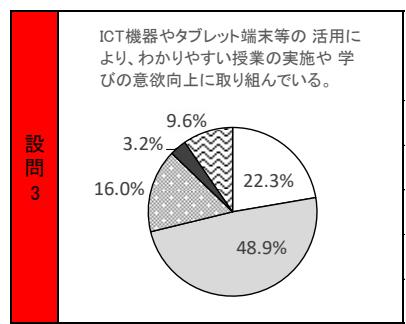
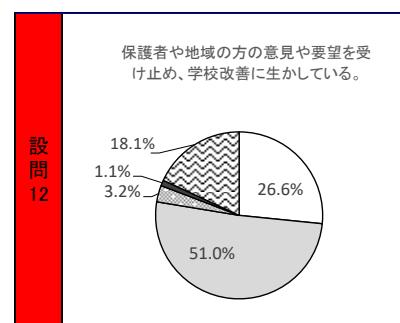
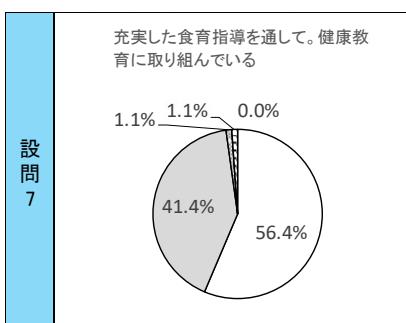
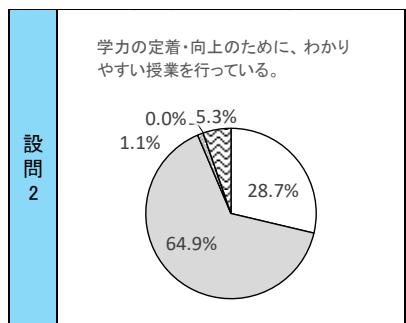
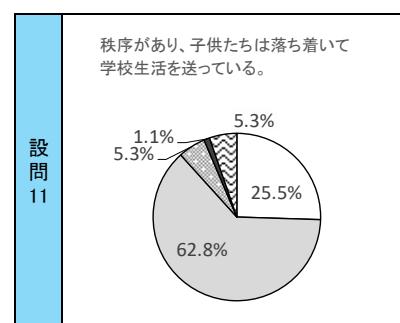
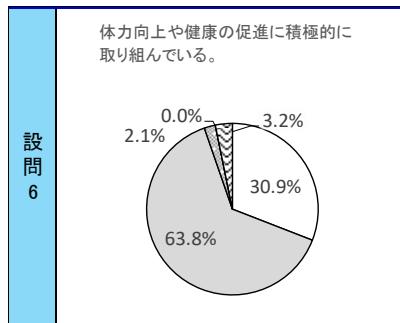
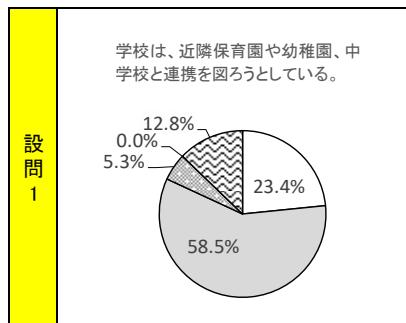
# たかまつ

発行日 令和8年1月30日  
学校だより令和7年度2月号  
豊島区立高松小学校  
校長 坂本 貴史

学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。皆様からの率直なご意見として受け止め、家庭・地域とともにある学校として今後も充実した学校運営を心がけて参ります。

◆課題のある項目→赤 ○十分に達成できている項目→青 ○概ね達成できている項目→黄

□とても達成されている □ほぼ達成されている ■あまり達成されていない ■ほとんど達成されていない ■わからない



## 学校評価アンケートの課題と対策

課題	対策
設問3 ICT機器やタブレット端末の活用と学びの意欲向上  ▲肯定的な回答が7割程度に留まっています。7月実施のアンケートでは肯定的な回答は6割でしたので、好転傾向にはありますが、まだ十分とは言えない状況です。	→「個別最適な学びの保障」として、例えば、同じ課題について「検索し調べる」場面においても、一律に同じ検索画面を開くのではなく、一人一人の興味・関心に応じ、「個の学びの時間を確保する」など、一人一人に適した学習に取り組ませるなど、教員の指導スキル（ICT機器の活用等）の向上を目指してまいります。
設問8 いじめ防止等への対応 設問9 児童理解と一人一人への対応  ▲回答の約3割が、達成が十分ではないと受け止められています。年間3回の児童へのアンケートを丁寧に行っていますが、表に顕れない悩みや辛さを抱えている子供がいることは、十分に心に留めて指導にあたっていますが、寄り添いが十分ではないことも背景と捉えています。	いじめへの対応  →いじめは、「どの学級にも、どの子にも起こりうる。」との認識で、学級経営・学年経営に臨んでいます。加害・被害に関わらず、いじめは子供の心を蝕みます。 <u>どの子も等しく守る姿勢で、子供の安全を守る指導を心がけて参ります。</u>  丁寧な児童理解 →「にこにこアンケート」「心の健康アンケート」等による児童の心の状態の把握はもちろん、 <u>登校時の表情、学習時の集中、休み時間の様子、今後もいろいろな場面で丁寧な児童理解に努めてまいります。</u>
設問10 特別支援教育（一人一人に応じた指導・支援）  ▲アンケートの中で、最も達成率の低い結果でした。歴年のアンケートにおいても、なかなか改善の手応えが見られない項目です。「誰もが心地よい環境」を目指すからこそそのご意見と受け止めております。	→「児童理解」については、本校の教員が、「組織の一員」として、いろいろな学年児童に関わる場面を意図的に作っています。補教指導もその一側面があります。また、委員会活動やクラブ活動では、学級担任・専科担任の枠を超えて、いろいろな児童の把握に努めています。低学年には豊島区より配置の「学級運営補助員」等と連携して <u>「誰もが心地よい環境」づくりを進めてまいります。</u>
設問12 保護者や地域からの意見の受け止め  ▲回答の約2割が、達成が十分ではないと受け止められています。年間2回の学校評価アンケート以外にも、保護者の方からの意見聴取とフィードバックの必要を感じます。	→アンケート等のフィードバックを充実させ、今後も、 <u>情報発信スキルの向上</u> に努めます。  ※今後は児童の負担軽減とコスト削減、環境保護のため、学校からの配布物は、デジタル配信（すぐーる）を基本とします。なお、重要性や緊急性のあるものは紙面での配布も行います。

★グラフ設問セルの「青色」表示は、十分に達成できていると評価をいただいた項目、「黄色」表示は概ね達成できていると評価をいただいている項目です。これらは、保護者の皆様からの「応援メッセージ」と受け止めております。

また、「わからない」との回答も、保護者の率直なご意見と受け止め、その割合の減少を目指して、丁寧な情報発信と公開に努めてまいります。常日頃より、保護者の皆様がアンテナを高く本校の教育を見つめ、ともに推進する立場としてお力を貸しくださっていることに、感謝の念が絶えません。

今後とも、本校の教育にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。